

食と生命

食と生命のサイエンス・フォーラム

主催：東京大学総括プロジェクト機構 総括寄付講座「食と生命」、ネスレ栄養科学会議、
ネスレリサーチ東京
協賛：ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー

筋肉の衰えと加齢 ～栄養と運動による予防～

加齢による筋肉の衰え(質と量の低下)を意味するサルコペニアは転倒や骨折の原因となるなど、日本および先進国において重要な関心事となってきました。このフォーラムでは、サルコペニアについての基本的な情報と高齢社会における社会経済的な影響、さらに適切な栄養と運動の組み合わせによるその予防など、栄養科学と運動生理学における最新知見を紹介します。

[日時] 2012年9月21日(金) 13:00～18:00
[場所] 伊藤謝恩ホール
(伊藤国際学術研究センター〈旧学士会分館跡地〉地下2階)
東京都文京区本郷7-3-1
[参加費] 無料(事前申込みを承ります)

- [基調講演]** **高齢者の転倒・骨折・介護予防**
武藤 芳照 (東京大学 理事・副学長、政策ビジョン研究センター 教授)
- [講演①]** **高齢者の筋トレーニングの意義と実践**
森谷 敏夫 (京都大学大学院 教授)
- [講演②]** **老年医学におけるサルコペニアの重要性とその栄養との関連**
葛谷 雅文 (名古屋大学大学院 教授)
- [講演③]** **サルコペニアと介護予防**
山田 実 (京都大学大学院)

eメールによるお申込み
(ここをクリックしてください)